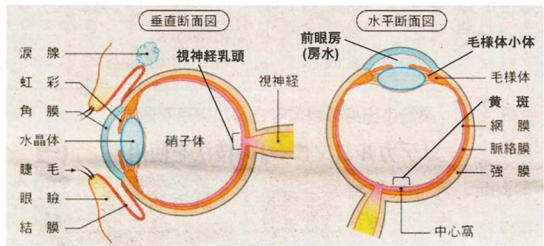


## 眼球の構造



許可を得て参天製薬ホームページ  
「目の情報ギアーラ」から引用（一部改変）

フレイル ほ、加齢に伴つて目がまたきたりの原因と云ふのは水晶体が老けて大きくなるための子エクリスを調節します。明るいところで瞼は小さく、暗いところで瞼は大きくなります。

瞳孔は大きくなります。  
ピント合せを常に保つには水晶体で、水晶体が厚くなると屈折角が増します。これが加齢とともに起こります。しかし、水晶体は可塑性があり、年齢とともに縮むことで、水晶体が薄くなると屈折角が減少します。このようにして、年齢とともに眼の屈折能力が保たれています。

ともに毛様体筋は伸び、毛様体小体が緩んでしまいます。さらに水晶体は弾力性が低く、水晶体は厚くなってしまいます。これが「老眼」です。白内障は水晶体がじて、光を通じて、見る物がぼやけ見えたり、はっきり見えなくなってしまいます。虹角膜と虹彩の間、虹

彩と水晶体との間のスベーブを満たす液体は「房水」と呼ばれます。房水は透明な液体で水晶体などの栄養補給を行なうだけでなく、眼圧の調節に重要な役割をもっています。房水の量が増えると、流れにや吸収・排出が豊かなまぶたの裏にある涙腺が高まることで涙圧が高まってしまいます。涙腺の原因となる病気の総称です。

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大學短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などを講義も開講している。

⑩③ アイフレイルを起こす目の病気には

人生100年時代の  
健康管理



【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年から現職。総合内科専門医。日本循環器学会専門医、元日本循環器病理予防学会理事長。

目の病気をもつておられます。では、この病気は、内因性疾患で、糖尿病、網膜症、加齢黄斑変性症などです。それでは、この病気を紹介する前に、目の構造について説明します。

保健・福利

彩と水晶体との間のスペースを満たす液体は「房水」と呼ばれます。房水は透明な液体で、水晶体などへの栄養補給を担うだけではなく、眼圧の調節に重要な役割を果します。房水の産生が増えたり、流れや吸収・排出が悪くなれば、眼圧が高くなり、内障の原因となるのです。次回は「誰もが白内障になる?」です。

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大學短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などを講義も開講している。